

令和6年度 美術アウトリーチ事業の質問項目

1 概要

日 時：令和6年9月20日（金） 13時30分～15時

会 場：秋田市立雄和中学校 体育館

対 象：同校2年生22名及び秋田市立雄和小学校5年生18名（計40名）

内 容：東京藝術大学大学美術館研究員による、同館所蔵作品を題材とした対話型オンライン鑑賞学習の実施。

大学美術館研究員1名（現地講師）が雄和中学校に赴き、同美術館スタッフが藝大上野キャンパスでオンライン対応。

2 質問項目

（1）児童・生徒（小学5年生・中学2年生から男女2～3名ずつ（学校側が決定））

①芸術作品の鑑賞やグループワークといった体験をしてみてどうだったか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における充実度】

参加者、来場者の世代、性別等にかかわらず満足感が得られる内容であったか。

②東京藝大の先生のお話（講義）を聞いてどう感じたか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における発展性】

参加者や来場者の興味・関心を発展、深化させる内容であったか。

③美術に興味を持ったか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における発展性】

参加者や来場者の興味・関心を発展、深化させる内容であったか。

（2）教諭（小学5年生の担任教諭・中学校の美術顧問）

①先生自身がアウトリーチに参加してみてどうだったか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における充実度】

参加者、来場者の世代、性別等にかかわらず満足感が得られる内容であったか。

②先生から見て、参加している生徒たちの反応はどうだったか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における充実度】

参加者、来場者の世代、性別等にかかわらず満足感が得られる内容であったか。

③今後、生徒と美術をどうつなげていきたいか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における発展性】

参加者や来場者の興味・関心を発展、深化させる内容であったか。

④県とのアウトリーチ開催に向けた調整や連携はうまくいったか。

[対応する評価項目]

運営【連携】

事業実施者と関係団体（参加団体や施設等）との連携が図られていたか。

(3) 現地講師

①（現地講師から見て）参加している生徒たちの反応をどう受け取ったか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における充実度】

参加者、来場者の世代、性別等にかかわらず満足感が得られる内容であったか。

[対応する評価項目]

有効性【表現者における充実度】

出演者やアーティストが創造性を十分に発揮できる内容であったか。

②今後、生徒たちにどのように芸術に関わってもらいたいか。

[対応する評価項目]

有効性【受容者における発展性】

参加者や来場者の興味・関心を発展、深化させる内容であったか。

③県とのアウトリーチ開催に向けた調整や連携はうまくいったか。

[対応する評価項目]

運営【連携】

事業実施者と関係団体（参加団体や施設等）との連携が図られていたか。